

からだところろの話

プライベート
ゾーン?

相手の
気持ち?

がん
よぼう
予防?

SNS から
守るため?

せい
“性”について考えることは、

あなたや大切な人の

「からだところろ」の健康と

そんげん
尊厳を守ることにつながります。

“性”について

いっしょに考えてみませんか。

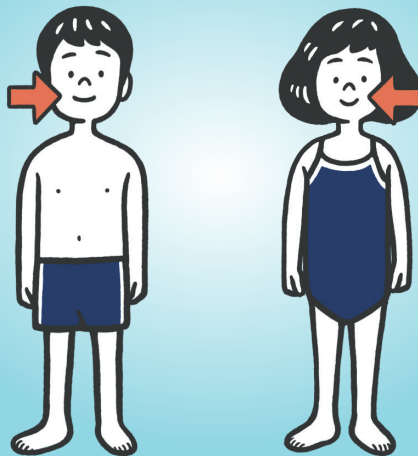
さっし とくせつ
この冊子はNHK 特設ページ「からだところろの話#BeyondGender」の
動画といっしょに活用できます。右のQRコード、以下のアドレスから
アクセスできます。 <https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0129/>



プライベートゾーンって知ってる？

からだの中には、あなただけの特別で大切なところがあります。
友だちやまわりの人にも、その人だけの特別で大切なところがあります。
それが「プライベートゾーン」。

「プライベートゾーン」は
水着でかくれるところと口



※水着でかくれなくても、あなたが大切に思うところは、プライベートゾーンです。

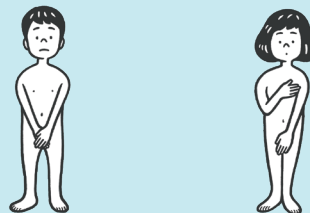
自分のからだは 自分のもの

からだを、とくにプライベートゾーンを大切にできる人は、
自分を大切にできる人、
友だちやまわりの人のも大切にできる人です。



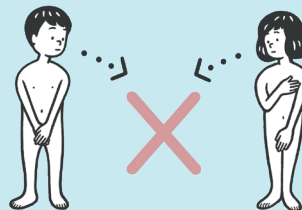
ショート動画と解説記事はこちらから
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0029/topic014.html>

だれかに見せないさわらせない



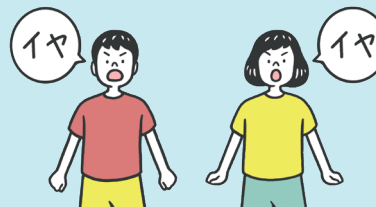
プライベートゾーンは、あなただけの特別で大切なからだの一部です。
ほかの人に見せたり、さわらせたりするのはやめましょう。

勝手に見ないさわらない



プライベートゾーンは、相手にとっても特別で大切なからだの一部です。
勝手に見たり、さわったりするのはやめましょう。

「見せて」「さわらせて」と言われたら



はっきりと「イヤ」と言いましょう。
ことばで、しっかり相手に伝えることが大切です。もし「イヤ」と言えなくても、相手やその場からすぐにはなれましょう。

安心できる人に話そう



だれかに「見せて、さわらせて」と言われたことを、あなたが安心できる人に話しましょう。

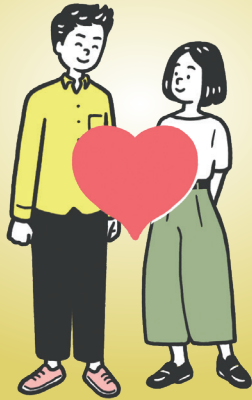
あなたは決して悪くありません。

相手の気持ちも大切に

好きな人にふれたいと思うのは自然なこと。

でも、手をつなぐ、ハグ、キスなど性的接触をするときに、
相手がそれを積極的に望んでいるかを確認すること（性的同意）が必要です。

“いっしょにいたい”、“ふれたい”



でも待って!

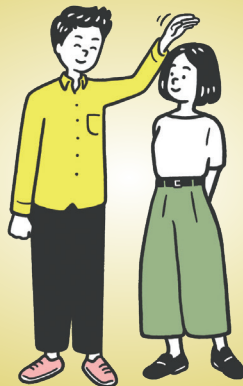
“からだにふれる前に確認しよう”

同意のない性的な行為は
すべて性暴力です

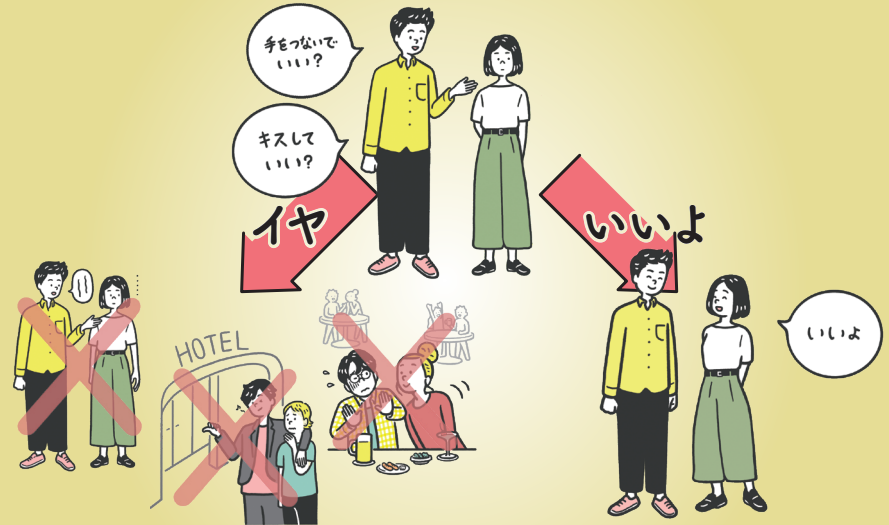
どちらかの気持ちが少しでも

モヤモヤしたりイヤな気持ちだったりしたら、

同意があるとはいえません。



“ことばで確認することが大切”



「イヤ」と言われたら、もちろんダメ。
返事がないのもダメ。その場の雰囲気
相手の気持ちを判断するのもダメ。

手をにぎる、ハグ、キスなど性的接触が
できるのは、相手が「いいよ」と言った
ときだけ。いつも確認しよう。

相手の気持ちを聞く前に

相手とあなたは
対等な関係?

先輩と後輩、先生と生徒の
ように、上下関係や力関係
がある場合、立場や力が弱
いほうの人は「イヤ」と言い
づらいのです。おたがい
対等な関係かどうかを考え
てみましょう。

相手が「イヤ」と
言える環境?

相手がからだの具合が悪
かったり、ねむっていたり
したら、同意はとれません。
恐怖を感じていたら、こと
ばが出ない、動けないこと
もあります。

それぞれの行為について
確認した?

相手がふたりだけで部屋
で過ごすことに同意したと
しても、からだにふれるこ
とに同意したことはありません。
必ずことばで確認
しましょう。

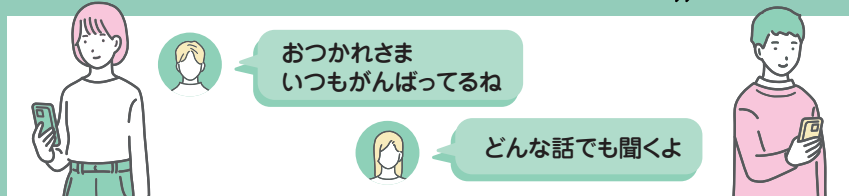


ショート動画と解説記事はこちらから
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0029/topic015.html>

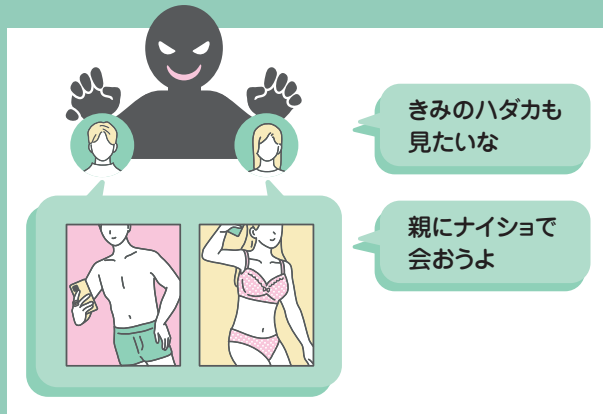
SNS 性被害から守るために

毎日のように使う SNS。
でも、SNS を通じて性被害にあうケースがあつちまません。
あなたや大切な人を被害から守るための方法があります。

// やさしいことばをかけられても… //



// どんなにやさしくて、いい人だと思っても… //



「はだかの写真が見たい」など性的なことを求めたり、「親にないしょで会おう」などと言ってきたら、注意しましょう。送ってしまった写真が悪用されたり、あなたが性被害にあつたりする危険があります。

SNS 性犯罪の手口 “性的グルーミング”

性的なことをする目的で、相手にやさしいことばをくり返しかけて、信頼させようとするを “性的グルーミング” といいます。犯罪者はこうした手口を使うことがあります。



ショート動画と解説記事はこちらから
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0029/topic081.html>

// 「さらわれたくない」と思うかもしれない。でもね… //



あなたを本当に大切に思っている相手なら、SNS でとつぜん、性的なことを言ったり、はだかの写真を求めてきたりはしない。

// 相手をブロックしていい、相談していい //



ブロック機能を使って、相手のメッセージや通話を受け取らないようにしていい。



だれか安心できる人に相談していい。

// 写真を送ってしまったたり、会ってしまったても、あなたは悪くない //



相手に自分の写真を送つたり会いたくなつたりしたら、まずは安心できるだれかに相談してほしい。もし自分の写真を送つてしまつても、会つてしまつても、**あなたは決して悪くありません。**

小学生から予防できるがん

2人に1人が一生のうちにがんになると言われています。
ウイルス感染がきっかけで起きる「HPV 関連がん」は、
小学生から予防することができます。

HPV（ヒトパピローマウイルス）関連がん



のど、肛門、子宮など

「HPV 関連がん」は、
HPV=ヒトパピローマウイルスが原因となるがんです。

女性の子宮にできる「子宮けいがん」。

男性もかかるのど、肛門のがんなど。

(HPV が原因となる割合は、それぞれのがんで異なります。)

くわしくは国立がん研究センター ページ <https://www.ncc.go.jp/jp/epoc/project/hpv/index.html>

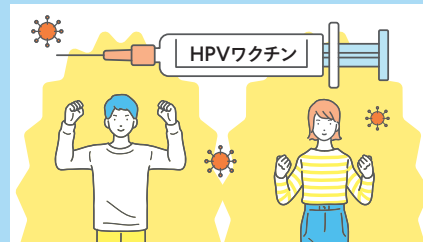
「HPV 関連がん」は
年間およそ2万8千件

HPV は、主に性的接触を通じて男性にも女性にも感染し、
がんを引き起こす原因になります。
この感染を防ぐためのものが、HPV ワクチンです。



ショート動画と解説記事はこちらから
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0119/topic011.html>

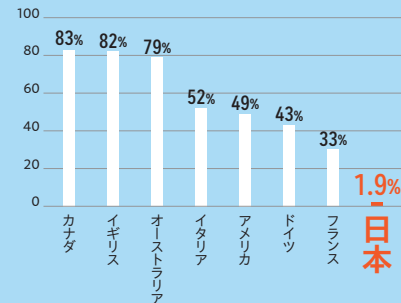
小学生から接種できる「HPV ワクチン」



「HPV ワクチン」は HPV 感染を防ぐための
ものです。接種率は1.9%にとどまります。

(2019年時点)

HPV ワクチンを接種した女の子の割合 (2019年)



HPV ワクチン接種
厚生労働省 資料より

小6～高1の女子(無料)

- 1997年度～2005年度生まれの人、
期間内に接種できなかった人は、
2025年3月まで無料で接種できます。
- 男女ともに9歳から自費で接種できます。

くわしくは厚生労働省ページ <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>

大人になるとがん検診も大切



検診とワクチンを組み
合わせることで、より効果
的ながん予防ができます。
子宮けいがん検診は
20代から受けられます。

大切な人と話し合ってみませんか



あなたと大切な人の
からだを守るために、
知ること、話し合うこと
から始めませんか。

からだところの話【先生・保護者の方へ】

“性”について考えることは、子どもを性被害から守るため、誰もが「からだ」と「ところ」の健康と幸せを守るために欠かせません。性別を問わず、子どもも大人も“性”について一緒に考えていくことが大切です。

プライベートゾーンって知ってる？

プライベートゾーンを意識することは、からだを守るためだけでなく、自分自身を、そしてまわりの人たちのことを大切に思う気持ちを育むことにつながります。「プライベートゾーンを大切にできる人は、自分を大切にできる人。そして友だちやまわりの人を大切にできる人なんだよ」と伝えましょう。また、子どもから「プライベートゾーンを見られた、さわられた」と相談を受けたら、決して責めないでください。被害にあった子どもの心の傷をさらに深めてしまいます。まず「話してくれてありがとう。あなたは悪くない」とやさしく受けとめることが大切です。



相手の気持ちも大切に

手をつなぐ、ハグ、キス、性的接触をするときに、それをお互いが積極的に望んでいるか、気持ちを確認することを「性的同意」といいます。“イヤよイヤよ好きのうち”では決してありません。大切な相手、そして自分自身のからだところを傷つけないためにも、「性的同意」をしっかりのことばで伝える必要があることを伝えましょう。



性的同意のポイント

- 2人が対等な関係であることが大前提
- 相手が「NO」と言える環境が不可欠
- 1つの行為への同意は他の行為への同意ではない

積極的な同意のない、強引で一方的な性的行為はすべて性暴力です。

SNS 性被害から守るために

SNSをきっかけに性被害にあう子どもは年間1700人以上に上ります(警察庁資料・令和3年)。加害者は子どもにやさしいことばをかけて信頼を得る“性的グルーミング”といわれる手口を使うことが多いです。性的な会話をするのが当たり前のような空気を巧妙に作り出したりします。そのため、子どもは自分が被害にあっていることに気づかずに、好意さえ抱いたまま性的な要求に応えようとすることもあります。子どもから相談を受けたら、「どうしてそんなことをしたの?」と責め立てるような質問は避け、「相談してくれてありがとう」など、安心につながる言葉で対応しましょう。日頃から「相談していいんだよ」と話しておくことも大切です。また、SNS上の機能を使って相手からの受信を拒否(ブロック)できることも伝えておきましょう。



小学生から予防できるがん

HPV=ヒトパピローマウイルスは、性別に関わらず、主に性的接触を通して感染し、がんを引き起こす原因になります。HPV感染の予防につながるHPVワクチン接種は小学生から受けられます。2013年に厚生労働省はワクチン接種後にさまざまな症状が出たとする報道や副反応への世間の不安があったため、積極的な接種の呼びかけを一時的に中止しました。しかし、その後、安全性や有効性の研究が進み、副反応のリスクよりも、子宮けいがんを予防する効果のほうが大きいと専門家の会議で判断され、2022年に積極的な接種の呼びかけが再開されました。接種に関する不安やお悩みは、かかりつけ医やお住まいの都道府県に設置された相談窓口などにご相談ください。



HPV ワクチンについて詳しく知りたい方は
<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0119/topic001.html>

【監修】

弓倉医院 院長 弓倉 整(全体)
順天堂大学 保健看護学部 教授 西岡 笑子、慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授 本田由佳(プライベートゾーンって知ってる?・相手の気持ちも大切に)
目白大学 心理学部 准教授 齋藤 梓(SNS性被害から守るために)
横浜市立大学 医学部 主任教授 宮城悦子、国立がん研究センター がん対策研究所事業統括 若尾彦彦(小学生から予防できるがん)

【イラスト】

つまようじ(プライベートゾーンって知ってる?・相手の気持ちも大切に)
こつじゆい(SNS性被害から守るために・小学生から予防できるがん)

#BeyondGender

ジェンダーをこえて

ジェンダーをこえて、いっしょに考えませんか？

※ジェンダー…社会や文化が作り出した性別

性教育動画・
記事ホームページ



からだところの話 #BeyondGender

性教育シリーズ「からだところの話」動画(30秒~1分)をまとめてご覧いただけます。「男らしさ・女らしさの押しつけ」「性の多様性」などについて解説した記事もあります。ページ中のリンクより、みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0129/>



ジェンダー関連記事ホームページ



みんなでプラス ジェンダーをこえて考えよう

“男らしさ・女らしさ”の押しつけや性の多様性など、ジェンダーをめぐるテーマの記事を継続的に発信し、課題解決につながる手がかりを、みなさまといっしょに考えていくサイトです

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0029/>



ジェンダー関連番組情報ホームページ



最新番組情報 今こそ、ジェンダーをこえて考えよう

ジェンダーに関する番組の概要と放送予定、番組ホームページ、関連記事、見逃し配信のリンクを掲載しています。番組へのご意見・ご感想をお聞かせください。制作者に届けます。

<https://www6.nhk.or.jp/nhkpr/post/original.html?i=27507>



#BeyondGender

ジェンダーをこえて

#BeyondGender もみなさまと受信料で支えられています。
ご意見・ご感想をお聞かせください。